

フードバンク

～あなたの家の「もったいない」そこから始まる支援のかたち～

FOOD DRIVE

フードバンクとは…

まだ食べられる食品を、困っている誰かへ

フードバンク活動とは、企業やご家庭においてまだ賞味期限はあるけれど、様々な理由により捨ててしまう食べ物を寄付していただきその食品を困窮者へ無償で提供する活動です。

ご家庭においては、好みでなかったり食べる予定の無い貰いものや、余ってしまったもの等を。企業においては、印字ミスやケース破損等で中身が食べられるのにも関わらず、捨てざるを得ないもの等を。

捨てられてしまう、まだ食べられる食べ物を食べ物が欲しい、困っている誰かへ私たちは食品を通じて人から人へ、寄付と提供の架け橋となります。

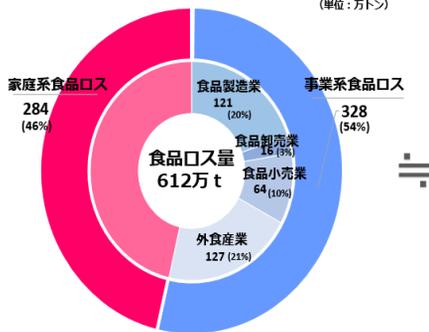
フードバンクの流れ

「もったいない」 から 「ありがとう」へ



フードロスの現状

(単位：万トン)



国民1人当たり食品ロス量

1日 約132g

※ 茶碗約1杯のご飯の量に相当

年間 約48kg

※ 年間の1人当たりの米の消費量 (約54kg) に相当



資料：総務省人口推計(平成29年10月1日) 平成29年度食料需給表(確定値)

受付可能な食品条件

賞味期限まで
1ヶ月以上



常温保存が可能



未開封の食品



受付可能



- ◇未開封で破損していないもの
- ◇賞味期限1ヶ月以上あるもの
- ◇常温保存できるもの

【例】缶詰、乾物、乾麺、インスタントやレトルト食品、お茶、コーヒー、飲料、調味料

受付不可



- ◇開封済み食品
- ◇賞味期限1ヶ月未満のもの
- ◇賞味期限表示がないもの
- ◇生鮮食品◇アルコール類

【例】お野菜、お肉、お魚等 冷蔵庫や冷凍庫での保管が必要なもの

国内で**612万トン**

1人当たりご飯茶碗1杯分/毎日